

2024年11月25日

各位

三井住友信託銀行株式会社

**持続可能な教育支援の資金調達の枠組み「鎌倉スクールコラボファンド+(プラス)」の  
構築に関する鎌倉市との包括連携協定について**

三井住友信託銀行株式会社(取締役社長:大山 一也、以下「当社」)は、鎌倉市(市長:松尾 崇)と「持続可能な教育支援の資金調達の枠組みの構築に関する包括連携協定」(以下「本協定」)を締結しましたのでお知らせします。

本協定に基づき、本日より、鎌倉市教育委員会(教育長:高橋 洋平)が「鎌倉スクールコラボファンド+(プラス)」と題する「金融商品の運用益を活用した持続可能な教育資金を調達する仕組み」に対して、金融商品の提供を開始します。

また、鎌倉市とは本協定にあわせ、遺贈寄附に関する協定を締結し、遺贈を通じた鎌倉市への寄附の取り扱いも開始します。

当社は、お客さまのニーズに幅広く対応する仕組みを提供することで鎌倉市の教育を支援していきます。

### 1. 本件の背景・目的

三井住友トラストグループは、「託された未来をひらく」をパーパスとして定義し、「社会的価値と経済価値創出の両立」を経営の根幹に据え、「資金・資産・資本の好循環」の実現を目指しています。

鎌倉市では、本年4月に「鎌倉スクールコラボファンド活用基金」を設置し、鎌倉市内外の方々からの寄附金を活用して、多様な企業・団体等とのコラボレーションによる学校教育活動の実現に取り組んでいます。

この鎌倉市の取り組みを応援することは、地域教育の社会課題に対して、当グループのパーパスに合致するとの思いから、今般、鎌倉市と持続可能な教育資金調達の枠組みの構築、実施、運用に関する連携協定を締結しました。

### 2. 本協定の概要

当社および鎌倉市は、次の事項について連携・協力をするものとします。

- (1) 持続可能な教育支援の資金調達の枠組みの構築、実施、運用に関すること
- (2) 持続可能な教育支援の資金調達の枠組みの周知、広報に関すること
- (3) その他、両者が合意する事項に関すること

### 3. 鎌倉スクールコラボファンド+(プラス)への金融商品の提供開始について

鎌倉スクールコラボファンド+(プラス)は、金融商品の運用益を活用して、持続可能な教育資金を調達するという、自治体の取り組みとしては日本初の仕組みです。

当社の取り組みは、個人または法人の皆さまに、当社が運用する元本保証の金銭信託をご利用いただき、その配当金相当額を鎌倉スクールコラボファンド活用基金にご寄附いただくものです。(取り扱い開始

日:2024年11月25日)

(詳細ご案内)

・商品概要

<https://www.smtb.jp/-/media/tb/about/corporate/release/pdf/241125-2.pdf>

・鎌倉市ホームページ

<https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/kyoplan/kamakura-scf.html#scfplus>

以上